

# 農業部 だより

但馬農業高校  
平成30年1月

No 94号

## リレーション 特集:新春対談 但馬の農業 ～私たちが支えます～

JA たじま広報誌「リレーション」において、本校の生徒と、本校出身で現在、但馬の農業の中心で活躍されている農家の方との対談特集が、3ページという異例の多くの紙面を割いて掲載されました。

対談をしたのは2年農業科の長島佑樹君と日高町で水稻やわさび菜などを経営されている水嶋明彦さん（平成2年3月卒）、3年畜産科の水間達哉君と新温泉町で但馬牛の繁殖・肥育をされている中村文吾さん（平成6年3月卒）です。

リレーションの文頭には、「豊かな自然の残る但馬、その自然を生かした但馬の農業は、多くの人々の手によって守られてきました。そして、但馬の農業の担い手を多く輩出してきたのが兵庫県立但馬農業高等学校です。今回の特集では新春対談として但馬農業高等学校の卒業生と在校生の方々に「但馬の農業」について語っていただきました。」と書かれ、シクラメンの温室での笑顔の記念写真が紹介されていました。

記事の一部を掲載させていただきます。

長島：今後の抱負は？「但馬には魅力的な農作物が多くあります。もっとたくさんの方に但馬の農作物を知ってもらい、食べてもらうために、農作物をそのまま出荷するだけでなく、加工品にして販売していきたいと思っています。自分はまだ学生で、農業に関する知識や技術が未熟です。まずは進学して知識や技術をしっかり身につけ、但馬の農業を盛り上げられるような担い手に成長していきたいです。」

水間：畜産業に進む前と後で心境の変化がありましたか？「僕はまだ学生で経営面については分からないことばかりですが、小・中学生のころには、簡単な世話ぐらいしかできていなかったことが、高校では牛の出産や去勢に立ち会ったり、自分たちが育てた牛で品評会や県・全国の共進会などへの出場を経験したりしたことで、畜産業への憧れがより強くなりました。中村さん、良い牛を育てるにはどうすればいいですか？」

JA さんには、本当によい企画をしていただき感謝すると共に、今後は、毎月のリレーションに「但農の記事」を載せていただきたいと思います。

## 出石特別支援学校との交流 販売学習会でのシクラメン販売

10年前「はばたきサポート」の交流が始まって以来、出石特別支援学校の販売学習会において、本校の草花（今年はシクラメン）販売が続いています。今年は1月20日（土）に行われ、本校からは2年農業科の村尾君、米田君が参加しました。販売学習会は、陶芸班、木工班、農芸班など、出石特別支援学校の生徒が、1年間かけて活動し、その成果の作品等を販売するもので、保護者も参加します。また、購入体験の機会でもあるため、生徒は一人当たり約700～800円を持って、買い物をします。

開会式では、村尾君、米田君があいさつとシクラメンの紹介をしました。今年は生徒の数がたいへん少なく、そのため保護者も少なかったですが、毎年販売しているためか、シクラメンの人気は高く、多くの方が買ってくださいました。特にうれしかったのは、少ないお金の中で、500円もするシクラメンを買ってくれる生徒が3名もいたことです。

今回、販売学習会に参加して、お互いの交流の良い機会になったと共に、本校のシクラメンの人気をあらためて実感することができました。

## 各科・課題研究発表会

今年度の課題研究発表会が開催されました。開催日と主な発表タイトルを記載します。

### 【生活科】1月18日（木）

- ・嫌いな野菜を使ってお菓子・サラダ
- ・伝統工芸 ～みんなに愛される物作り～
- ・三大アレルギー対策スイーツ
- ・手づくりウェディングドレス

### 【畜産科】1月23日（火）

- ・新豚舎の改善～快適・健康な豚舎を目指して
- ・堆肥の研究とビタミンAの研究2017
- ・不易流行～New 但馬牛への取り組み
- ・CHCKEN REVOLUTION ～地域に隠れた資源を生かす

### 【農業科】1月30日（火）

- ・エゴマとジャガイモ
- ・ガーデンショー出展 ・大小懸崖菊の栽培
- ・学校給食プロジェクト～ナス&ピーマンの栽培
- ・果樹を使った節水グリーンカーテン

## 春を告げる花、ポリアンサ販売中

春を感じさせるプリムラ、ポリアンサが咲き始め、1鉢200円で販売しています。管理を上手にすれば、次々に花が咲き、長期間楽しめます。香水の様な香りも素敵です。ぜひ一度、草花温室へ起してください。



リレーションより

